

提出日: 2024 年 4 月 8 日

研究促進期間制度 研究実績報告書

所属学部・研究科	身分	氏名
総合政策学部	准教授	山城雅江

研究期間	以下1～4より、取得した研究機関を選択し、該当番号を右欄にご記入ください。
	1. 2023年4月 1日 ～ 2024年3月31日
	2. 2023年9月 1日 ～ 2024年8月31日
	3. 2023年4月 1日 ～ 2023年9月20日
	4. 2023年9月21日 ～ 2024年3月31日
活動報告	研究期間中に実施した研究活動を具体的に記入ください。 海外活動補助費を受給した方は、海外活動の内容が分かるように記入ください。
	今回の研究活動ではアメリカ的図像・シンボルをめぐる言説・表象分析のための調査をいくつか並行して行ったが、中心となったのは星条旗に対するアフリカ系アメリカ人の反応・相剋についての検証であった。具体的には、星条旗イメージを用いた芸術作品やその社会・歴史的文脈についての検証で、1960年代から活動する代表的なアーティストに関連する資料収集・読み込み・分析・論文執筆を集中的に行った。また、その他の米国マイノリティの芸術的実践に関連する資料の収集も並行的に実施した。加えて、米国との関係が深い島嶼地域におけるアメリカ的図像・シンボルへの文化的反応・相剋の検証に向けて、対象を絞り込む事前準備として資料収集と読み込みを行った。
得られた研究成果について	上記の研究活動の結果、得られた研究成果について記入ください。
	星条旗イメージに対するアフリカ系アメリカ人の反応・相剋に関する研究では、論文「星条旗アートと表現の自由、リンゴールドのフラッグ作品」(『英語英米文学』第64集所収)を2024年2月に刊行した。またこの成果をもとに、デイヴィッド・ハモンズによるフラッグ作品についても検証を進め、資料収集、読み込みの大部分を終え、研究論文の執筆を開始することができた。その他の米国マイノリティの芸術的実践に関する資料収集については、円安による価格高騰等で期間中に得られた資料は数点に留まったが、先行研究の概要把握ができた。また米国との関係が深い島嶼地域における検証に向けた事前準備については、多くの貴重な資料・文献を収集することができ、読み込みにも着手することができた。
今後の計画について	以上の成果を踏まえ、今後どのように研究を進めたいかを記入ください。
	現在執筆中の研究論文については引き続き作業を進め今年度中の公刊を計画している。その他の米国マイノリティの芸術的実践の検証についても資料収集、読み込みを継続し、次年度中の論文の公刊を目指したい。米国との関係が深い島嶼地域におけるアメリカ的図像・シンボルへの文化的反応・相剋についても本格的な検証に向けて事前準備を続ける予定だが、次年度以降はハワイ・沖縄等、現地での調査や学術的交流も含めて加速していく予定である。科研費への申請も視野に、今回の研究活動をもとに更なる成果を積み重ねて、アメリカ的図像・シンボルに関する基礎的研究の提出を目指したい。